

《一期一会 野中秀司 受賞記念絵画展》

一期一絵

野中秀司 絵画展

～世界が認めた心の故郷～

* 日光東照宮陽明門平成の大修理竣功奉芸～萌志展～

「世界芸術文化交流会推選芸術賞」

* 「日本代表殿堂作家」認定

(世界基準国際芸術文化交流協会)



洋画 野中秀司 (千歳絵)

とき 2018年2月11日より 常設展示
(火)(水)(木) 定休 (受賞記念)

じかん 10時～17時

ところ Café プレイエル&ギャラリーやましろ

長野県松本市波田 3058-5

(上高地線新島々駅西)

TEL 0263-92-8158

<http://www.cafe-pleyel.com/>

洋画家

の なか しゅう じ
野中秀司

～ 略 歴 ～

1959年 長野県松本市に生まれる

1986年 自宅 アトリエで「野中絵画教室」を開く

1991年 初めてフランス、イギリスの国際美術展へ
出展。以後、世界各国で開催される美術展
へ出展し、高い評価を受け、これまで
100を越える受賞、認定を重ねる。

1999年 在リヨン日本名誉総領事賞

ベルサイユ芸術友好協会 正会員

タイ王国シリントン王女殿下認定

タイ王室芸術勲章

2000年 ハンガリー 1000年芸術名誉勲章

ウィーンハブスグルグ芸術友好協会

宮廷特別芸術会員

・タイ国立シラパコーン大学世界芸術アカデミー
名誉教授

・ヌーベルルネッサンス認定 名誉作家

・ジュネーブ国際、平和遺産作家 認定

・サロン・ド・ロートレック正会員

・マンハッタン 芸術大賞

・ODA 国際協力50周年記念 クィーンシリキット女王杯

・A・S・A・I スカンジナビア永久会員

・ロッテルダム市名誉作家 認定

・光のアーティスト「グランプリ・ダルティスト・ア・
ラ・リュミエール」

・フランソワ一世 至宝名画賞

・国際児童年社会教育芸術賞

(内閣府 W.C.F 国際児童基金)

・アセアン外郭団体 WAC (世界芸術文化交流会) より
誕生日 7月11日を『アジア芸術記念日』に制定され
る おおきな名誉を受ける。

また日本文化振興会よりこれまでの絵画を通して
の文化交流実績が評価され、長野県では2人目
30年振りとなる「国際芸術文化賞」受賞

2017年

・エコール・ド・パリ国際芸術賞

・ネーデルラント至宝芸術賞

『近代日本美術総覧』洋書、永久保存版

横山大観・菱田春草・東山魁夷・佐伯祐三・岸田

劉生・黒田清輝・竹久夢二・上村松園

東郷青児らと共に日本を代表される作家、30名

に選出され海外諸国に紹介される。

・日光東照宮～萌志展～

「世界芸術文化交流会推選芸術賞」

2018年2月5日

『日本代表殿堂作家』に認定される

(世界基準国際芸術文化交流協会)



F20 「うちわ」



野中秀司氏の描く幼児の姿は観る者の心に忘れかけた遠い記憶を呼び覚まし、ほのほのとした温もりを与える。氏は常に子供をオブジェクトとしているが彼らの純真さや愛らしさの描写には感服するばかりだ。ソフトな色遣いもデッサン力も卓越している。

家族から愛されている、いじらしい幼児の表情も自然にとらえていて素晴らしい。人体美学でもこの幼児化表現ほど難しいものは無いのに完成度は高い。

美術評論家 長谷川栄

ユーラシアンレガシー

(訳文)

貴殿の創作活動がユーラシア大陸の至宝と称えられるとともに、ユーラシア大陸全土において最高の評価に値するご活躍をされて来たことの証明とし、『ユーラシアンレガシー』の称号をここに授与させていただきます。

海外芸術交流協会審査委員会



そよ風



F30「追憶」

一期一絵

一人の画家が一生に一枚しか描けない絵。そんな意味で私はこの言葉を大切にしています。

誰もが幼い時期に経験したこと、見たもの感じたことなど、言葉では表現し尽くせない無限の世界を子供たちはふとした時に見せてくれます。何気ない表情や仕草に、故郷の情景や想いが重なって感じられるのです。そんな素直さに満ちた表情は私が大切にしている一期一絵の気持ちを絶えず刺激してくれます。人との出会い、子供たちとのふれ合いが私にとってまさしく「一期一会」と言えるのかも知れません。